

令和6事業年度 決算の概要



目 次

■ 令和 6 事業年度 決算の概要.....	1
■ 通行台数・料金収入の推移.....	2
■ 会計処理の特徴	3
■ 有料道路制度の会計処理（償還準備金積立方式）	4
■ 令和 6 事業年度 損益計算書	5
■ 令和 6 事業年度 貸借対照表	6
■ 借入金残高の推移	7
■ 令和 6 事業年度 キャッシュフロー計算書	8



令和6事業年度 決算の概要

- 令和6事業年度の日平均通行台数は71,160台で、G7広島サミットの開催による通行止めの影響があった前事業年度と比べ、1,670台（2.4%）の増加となりました。
- 日平均料金収入は33,953千円で、前事業年度と比べ、872千円（2.6%）の増加となりました。
- 供用路線に係る収益と費用の差である収支差益は3,271百万円と、前事業年度から1,136百万円（25.8%）の減となりました。
- その主な要因は、費用が9,311百万円と前事業年度から、1,414百万円増加したためで、これは経年劣化の激しい1号線3橋の床板取替工事（令和4～6年度）やETC中央システム更新工事（令和5～6年度）等の大規模事業を実施したことによるものです。
- 令和6事業年度の建設事業は、広島高速5号線のシールドトンネル工事及び2号線5号線連結路の上下部工事の進捗により、予算額7,210百万円に対し、執行額6,010百万円（予算執行率83.4%）となりました。
- 引き続き、高速5号線の整備促進及び早期供用に努めること、道路修繕に関して計画的な更新やライフサイクルコストの縮減を図ること、供用路線の利用促進に一層努めることなどにより、収支性の改善を図ってまいります。



※ 道路料金収入には、ETCマイレージ還元負担金等を含みます。
※ 増減率は百万円単位の端数処理後の値で算出しています。（P6 損益計算書を参照。）

通行台数・料金収入の推移

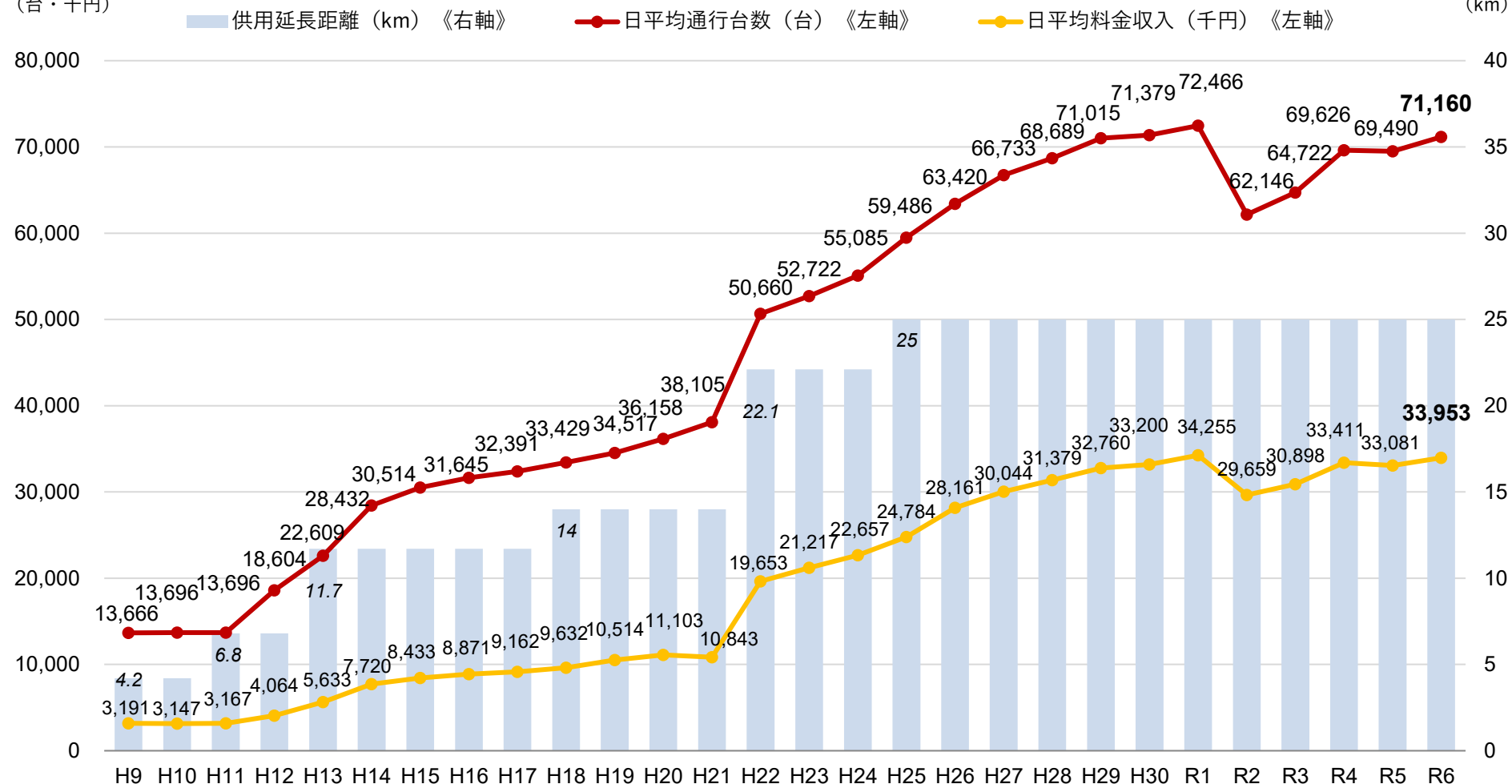
■ 令和 6 事業年度（4 月～ 3 月）

日平均通行台数 71,160 台（2.4%増※）

日平均料金収入 33,953 千円（2.6%増※）

日平均通行台数・料金収入
（台・千円）

供用延長距離
（km）



※ 前年度の日平均との比較

会計処理の特徴

原則

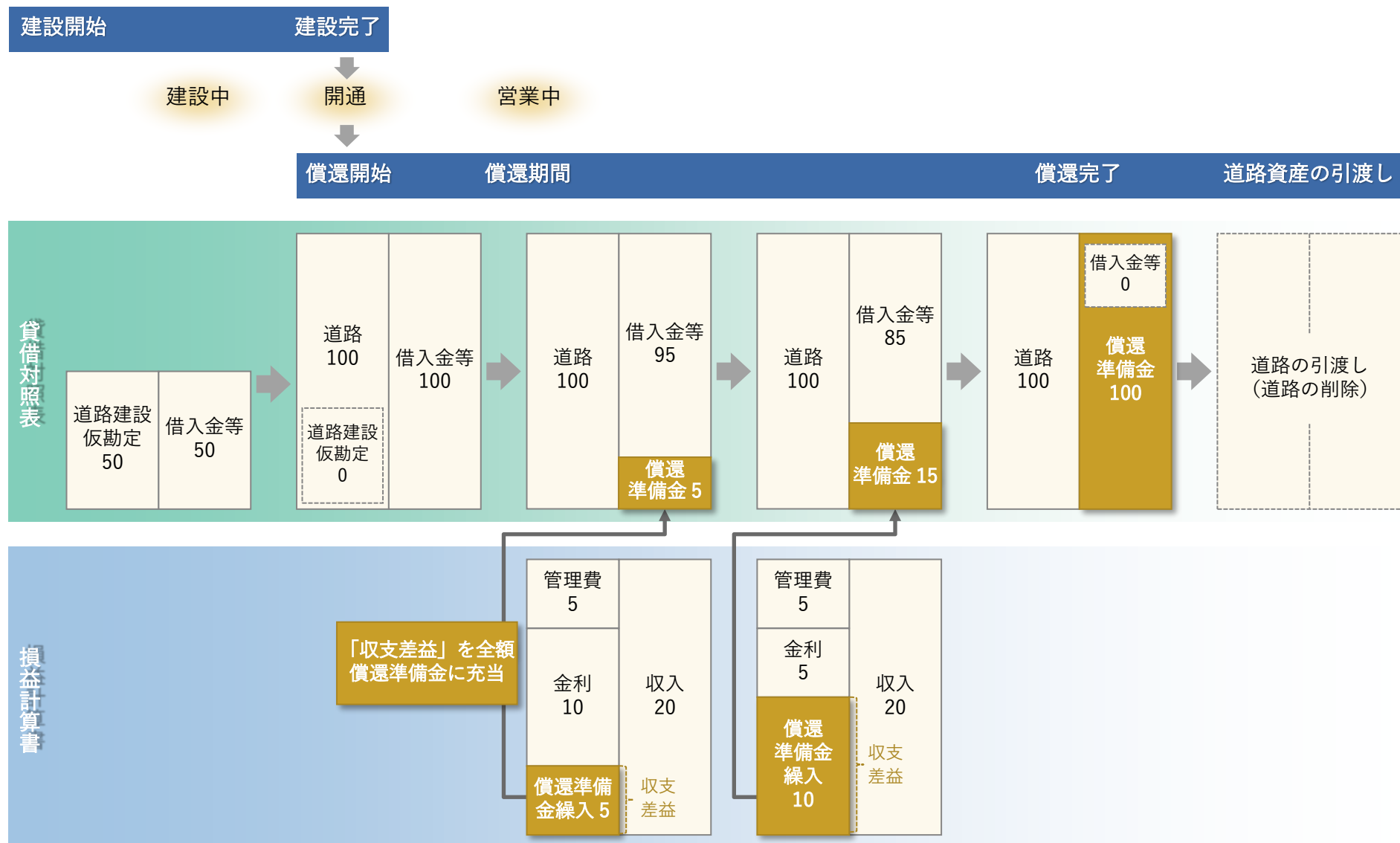
当会社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理（発生主義・複式簿記）を行っています。

特徴

- 広島高速道路の整備については、出資金・借入金で建設を行い、お客様から頂いた料金収入で借入金等を一定の期間内に償還する有料道路制度を活用しています。償還完了後の道路は、本来の道路管理者に引き渡します。
- 有料道路制度の会計に採用される「償還準備金積立方式」では、借入金等の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要で、「道路」への投下資金（借入金等）とその償還額を每期明らかにするため、「道路」については企業会計において一般的に採用されている減価償却費を計上していません。
- 借入金等の返済に充てた収支差益（料金収入と管理費、利息等の費用の差）は、「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。（特別法上の引当金）
- これにより、貸借対照表上で、資産の部に計上される「道路」と負債の部に計上される「償還準備金」とを対比することで、借入金の償還状況がわかりやすい仕組みになっています。



有料道路制度の会計処理(償還準備金積立方式)



令和6事業年度 損益計算書

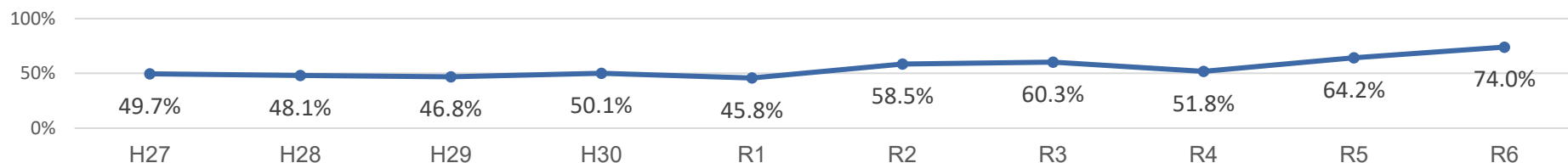
令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

(単位：百万円)

費用の部				
勘定科目	金額			増減率 (%)
	令和6 事業年度	令和5 事業年度	差額	
事業資産管理費	8,026	6,564	1,462	22.3
一般管理費	361	410	△49	△12.0
業務外費用	924	923	1	0.1
受託業務費	128	408	△280	△68.6
小計	9,439	8,305	1,134	13.7
引当金等繰入	3,529	4,516	△987	△21.9
償還準備金繰入	3,271	4,407	△1,136	△25.8
償還準備積立金繰入	258	109	149	136.7
合計	12,968	12,821	147	1.1

収益の部				
勘定科目	金額			増減率 (%)
	令和6 事業年度	令和5 事業年度	差額	
業務収入	12,569	12,292	277	2.3
道路料金収入	12,393	12,109	284	2.3
業務雑収入等	175	183	△8	△4.4
受託業務収入	128	408	△280	△68.6
業務外収入	271	121	150	124
合計	12,968	12,821	147	1.1

■ 営業係数（収支率）の推移（収支率＝費用÷収益×100） ※営業係数とは、100円の収入を得るために必要となる費用の比率です。



※ 道路料金収入には、マイレージ還元負担金収入等を含みます。
 ※ 係数毎に端数処理しているため、差額及び計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。
 ※ 営業係数（収支率）計算上の費用は、事業資産管理費、一般管理費及び業務外費用で、収益は、業務収入及び業務外収入（償還準備積立金対象分を除く。）です。

令和6事業年度 貸借対照表

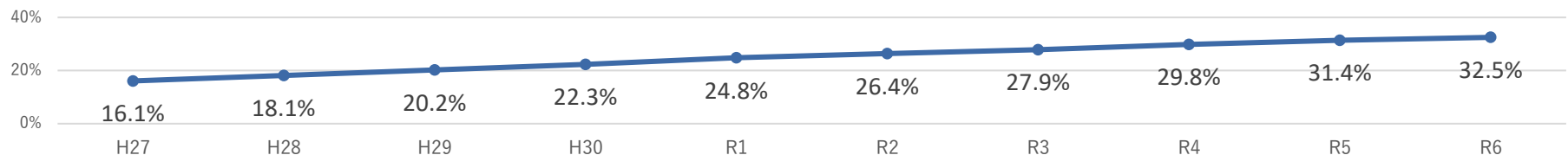
令和6年3月31日時点

(単位：百万円)

資 産				
勘 定 科 目	金 額			増減率 (%)
	令和6 事業年度	令和5 事業年度	差額	
流動資産	4,537	8,188	△3,651	△44.6
固定資産	417,075	411,103	5,972	1.5
道路	304,279	304,279	0	-
道路建設仮勘定	112,246	106,235	6,011	5.7
その他	550	589	△39	△6.6
繰延資産	445	462	△17	△3.7
資 産 合 計	422,057	419,753	2,304	0.5

負 債 及 び 資 本				
勘 定 科 目	金 額			増減率 (%)
	令和6 事業年度	令和5 事業年度	差額	
流動負債	22,883	22,480	403	1.8
固定負債	208,654	211,783	△3,129	△1.5
広島高速道路債券	155,950	155,700	250	0.2
地方公共団体借入金	24,210	26,799	△2,589	△9.7
政府借入金	25,953	28,238	△2,285	△8.1
民間借入金	2,175	691	1,484	214.8
その他	365	355	10	2.8
特別法上の引当金等	98,966	95,437	3,529	3.7
償還準備金	85,638	82,367	3,271	4.0
償還準備積立金	13,328	13,070	258	2.0
(負 債 合 計)	330,503	329,701	802	0.2
基本金	91,555	90,052	1,503	1.7
(資 本 合 計)	91,555	90,052	1,503	1.7
負債 ・ 資本合計	422,057	419,753	2,304	0.5

■ 償還率の推移（償還率＝特別法上の引当金等÷道路×100） ※償還率とは、道路の資産額に対する特別法上の引当金の割合です。

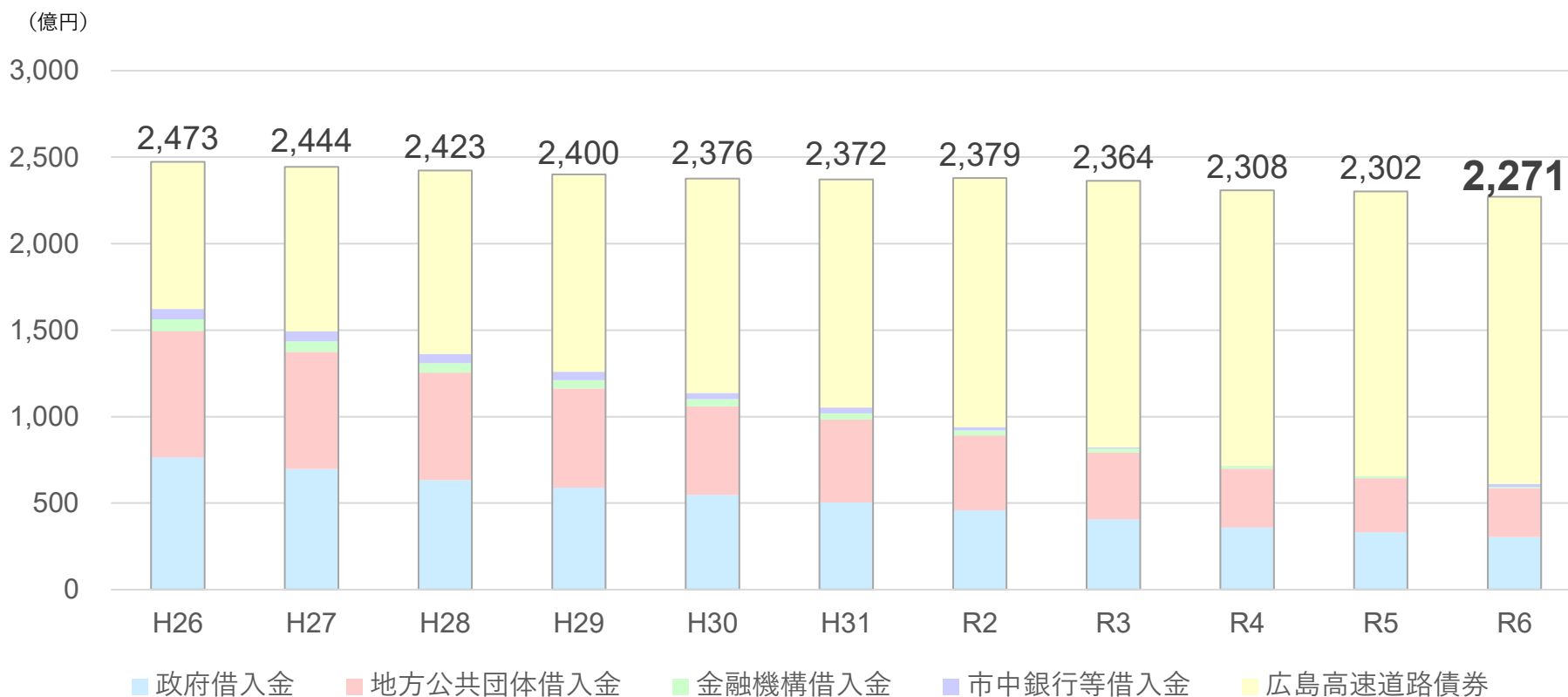


※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。

借入金残高の推移

令和 6 事業年度末の借入金残高

前年度末 (A)	令和 6 年度借入額 (B)	計 (C = A + B)	償還額 (D)	令和 6 年度末 (E = C - D)	前年度比 (E / A)
2,302億円	157億円	2,459億円	188億円	2,271億円	98.7%



令和6事業年度 キャッシュフロー計算書

				(単位：百万円)			
	令和6年度	令和5年度	増減額		令和6年度	令和5年度	増減額
	A	B	A - B		A	B	A - B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
償還準備金繰入等	3,529	4,516	△987	有価証券の取得による支出	—	—	—
減価償却費	38	41	△3	有価証券の売却による収入	—	—	—
賞与引当金の増減額	2	2	0	事業資産の取得による支出	—	—	—
退職給付引当金の増減額	10	28	△18	事業資産の売却による収入	—	—	—
E T C マイレージ引当金の増減額	0	△1	1	建設仮勘定の取得による支出	△5,691	△6,649	958
債券発行費等償却額	38	37	1	固定資産の取得による支出	△1	△1	0
受取利息	—	—	—	固定資産の売却による収入	1	—	—
債券支払利息	616	560	56	投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,691	△6,650	959
借入金支払利息	267	322	△55				
未収金等の増減額	△337	△103	△234	III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
棚卸資産の増減額	904	629	275	短期借入による収入	—	—	—
未払金等の増減額	52	81	△29	短期借入の返済による支出	—	—	—
その他	2	3	△1	長期借入による収入	5,061	5,109	△48
小 計	5,122	6,115	△993	長期借入の返済による支出	△9,772	△10,895	1,123
利息の受取額	—	—	—	債券の発行による収入	10,250	15,400	△5,150
債券利息の支払額	△596	△531	△65	債券の償還による支出	△9,000	△10,000	1,000
借入金利息の支払額	△271	△327	56	補助金の受入による収入	—	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,255	5,257	△1,002	補助金の返還による支出	—	—	—
				出資金の受入による収入	1,503	2,048	△545
				その他	△35	△60	25
				財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,994	1,601	△3,595
				IV 現金及び現金同等物の増加額	△3,429	208	△3,637
				V 現金及び現金同等物期首残高	5,490	5,282	208
				VI 現金及び現金同等物期末残高	2,061	5,490	△3,429

